ともしび

第345号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311

悠々と生きる

秋も深まり、肌寒ささえ覚える今日この頃です。今年の夏があまりにも暑かったので、9月の秋雨前線で早めに涼しくなり、体調を崩している方が多いので驚きます。皆様、お元気でしょうか。

今年の夏も自然災害が多く、次から次へと日本の各地が自然災害で被災し、ニュースで知ったその時は驚きますが、時間が経つと、どこでどんな大きな災害があったか記憶の薄れる愚僧です。

6月18日に大阪北部地震が起こり、高槻市の小学校のブロック塀が倒れて小学4年の女の子が亡くなるなど大きな被害が出ました。さらに7月6・7日には西日本豪雨が発生し、愛媛県・広島県・岡山県の各地で土砂崩れや川の氾濫で住宅が流されたり水没し、２００人を超す犠牲者を伴う大災害となりました。倉敷市真備町の水害でも、心光寺の門徒さんがたくさん被災し、住職としても辛い災害でした。

その後も9月4日に関西地方などを中心に襲った台風21号の被害はすさまじく、10人を超す死者を出し、関西空港は高潮で滑走路が水没し、空港連絡橋に流されたタンカーが衝突し、一時は約８千人が空港に取り残されました。神戸市、大阪府、京都府では浸水や、大風で屋根瓦が飛ぶ住宅被害が１０９５棟も出ています。

カット：本多紘子

＊心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

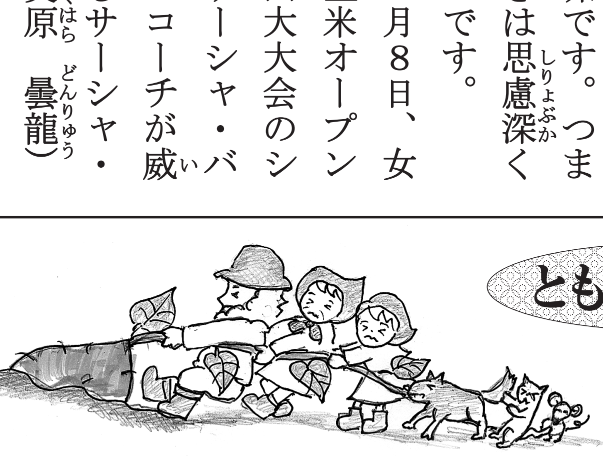
9月6日には、北海道厚真町で震度7を観測し、土砂崩れや家屋の倒壊が相次ぎ、北海道全域で41人の死亡が確認されました。この地震によって、北海道の広域に停電が起こり、空港がマヒし、電車も動かなくなるだけでなく、水道や他のインフラまでマヒさせて、経済生活の全般を混乱させました。その様子はメディアで国内外に配信され、北海道全域で観光客が減るなど新たな問題を引き起こしています。

災害が起きると、その地方全体が危険な状態と勘違いして、観光客が減るのは二次災害ですね。観光立国の日本にとって、正しい情報をいち早く流し、予想外の事態に右往左往せず、身の安全と生活を確保できるシステムを早急に確立したいものです。

四百年前、中国の明時代に書かれた『菜根譚』に「天地は寂然として動かずして、而も気機は息むことなく停まること少なり。日月は昼夜に奔馳して、而も貞明は万古に易らず。故に君子は、閒時には喫緊の心思あるを要し、忙処には悠閒の趣味あるを要す」とありますが、天地は動かずに静まりかえっているが、陰と陽の気はやむことなく働いている。日月は昼となく夜となくめぐっているが、それが放つ光芒（光のほさき）は永遠に変わらない。ゆえに立派な人は平穏無事なときに万一の災害に備えることを忘れず、いったん有事の時には悠々たる毅然とした態度で対処できなければならないという意味です。つまり災害はいつ、どこで起きるかも知れないので、そのときは思慮深く対処できるように、日頃からの準備が大切と述べているのです。

暗い話が続きましたが、明るいニュースもあります。9月8日、女子テニスの大坂なおみ選手が、ニューヨークで行われた全米オープンのシングルス決勝で、セリーナ選手を破り、日本勢初の四大大会のシングルス制覇を成し遂げたことです。ドイツ人コーチのサーシャ・バイン氏との出逢いが彼女の精神面を成長させたようです。コーチが威張るのではなく、選手のことを真剣に考えて下から支えるサーシャ・バイン氏を日本のコーチも見習いたいものです。合掌（奥原　曇龍）

『人生は何が起きても当たり前　仏道学び悠々と生きる』　どんりゅう



カット：奥原博子

ともしび説法

日時・十　月四日「木曜日」　午後一時から午後四時頃まで。
　　　十一月三日「土曜日」　午前十時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高 426　新本堂　　電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、
お寺についてもっと知りたい方　心光寺　倉敷　検索

お釈迦様ものがたり㉔

お釈迦様は二十九歳の時に出家して、マガダ国の王舎城の近くで修行者を導いていた二人の師匠に出逢います。

最初はアーラーラ仙のもとで何物にも執着しない禅定を学びました。眼・耳・鼻・舌・身による五官の感覚器官によって、綺麗、汚い、冷たい、熱いという偏った見方にとらわれて人は迷いを深めます。ゆえにあるものをあるがまま受け止めて、何物にも執着しない心を一定させて偏見をなくし、心の平安を保つことが最高の境地だと指導されます。

なるほど、禅定に入っている間は、心は無念無想となり、不安や苦悩から離れていますが、普通の精神状態に戻ると不安や苦悩に襲われます。人生の不安や、老・病・死への恐怖は依然として残り、お釈迦様は、この禅定は最高の覚りではないことを知り、アーラーラ仙のもとを去ります。

道を求め、さらなる善を求めた、お釈迦様は次にウッダカ仙のもとを尋ねられた。ウッダカ仙の説いた禅定は、精神作用があるのでもなく、ないのでもないような、一種の無念無想の精神統一の禅定を理想の禅定となし、それで輪廻からの解脱が得られると説いていました。しかし、お釈迦様はこの禅定は厭離に導かず、離貪に導かず・滅尽・寂静・知・覚・涅槃に導かずとして、あきたらず、師のもとを去っていきます。

当時の修行として、禅定と苦行という二つの道があったが、有名な禅定の師の二人について学んだお釈迦様は、どちらも不完全として、禅定の修行から、苦行の道に入ります。

お釈迦様はマガダ国のウルヴェーラのセーナ村に入られ、清らかな林があり、美しい川が流れ、豊かな村があり、修行の地として最適と喜び、ここで六年の間、人間が耐えられるありとあらゆる苦行を試みられます。人間はどうあるべきかを求め。合掌（奥原曇龍）

吉井家法要とどんりゅう師

ともしび法話

天高く、馬肥ゆる秋。今年は地震や大雨や台風などと、日本各地で大きな災害が起こっていますが、皆様お元気ですか。

お寺でも、真備町の檀家さんが水害に遭い、復興に努力しています。そんななかでお寺の秋の報恩講法要の準備にもお手伝い下さる方もあり、頭が下がります。

心光寺坊守（ぼうもり）　奥原　博子

七月六日に発生した真備町豪雨により…我が家も二階まで浸水し全壊被害となりましたが、皆様方の励ましや力添えに感謝しています。もう一度住み慣れた町を復旧・復興したいと前を向いて歩んでいます。

倉敷市真備町　平岡　正則

七月七日、早朝に隣の人に早く逃げないと危ないと言われ、着の身着のまま、雨の中を車で逃げました。翌々日に我が家に帰ると驚きの光景に茫然自失しました。皆様の優しい心に励まされ、心を再建したいと歩んでいます。

真備町　山下須磨子

盆参りの僧に賜ひし一筆箋　天女描かれ阿修羅描かる

岡山市　樋之津保子

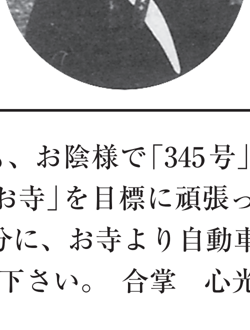
秋の風誘われくぐる寺の門こころの闇を照らすともしび　田辺多恵子

ともしび説法

日時・十　月　四日「木曜日」　午後一時から午後四時頃まで。
十一月　三日「土曜日」　午前十時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高四二六　心光寺（しんこうじ）本堂にて
電話・（086－420－1311）　駐車場有り
（宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。）

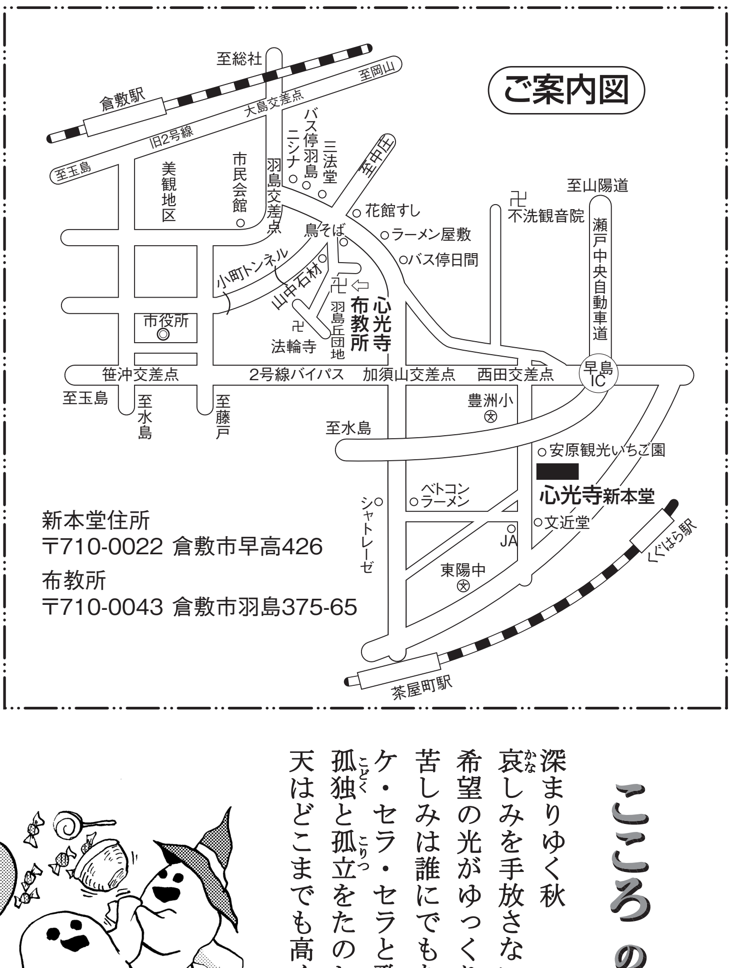
○ともしび説法・お寺の行事予定
十一月　三日（土）・午前十時から午後四時・早高の本堂。
ハンドベル演奏・民舞・フラダンス・午後から報恩講法要。
十二月　六日（木）・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆『ともしび』を平成21～23年、平成24～26年、平成27～29年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返ることが出来ます。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。



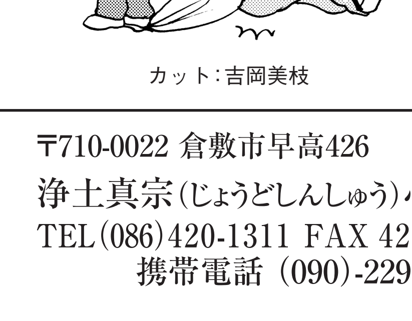
こころの詩

深まりゆく秋
哀しみを手放さないまま
希望の光がゆっくりと射し込む
苦しみは誰にでもあるよ
ケ・セラ・セラと歌いながら
孤独と孤立をたのしむ
天はどこまでも高く澄む



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

倉敷市　高橋様　田邉様　3千円　倉敷市　橋本様　4千円
倉敷市　岡山市　齊藤伸一様　早島町　藤原早登様　5千円
尾道市　奥原敏雄様　藤原隆雄様　1万円
尾道市　藤原稔様　2万円



カット：吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人（しんらんしょうにん）です。
お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗（じょうどしんしゅう）心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「345号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法が午後の日には茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌　心光寺　総代長　三村　健